



令和3年1月21日

安全・安心を実現する施策について意見交換します
～「防災・減災に関する覚書」における研究報告会の開催～

広島大学と中国地方整備局は、地域社会の発展に寄与するため、平成18年1月24日に包括的連携・協定を締結し、直轄事業の課題等について、研究を委託するとともに意見交換会を実施してきました。

このたびの意見交換会では、平成30年7月豪雨災害を受けて平成31年1月10日に締結した「防災・減災対策に関する覚書」に基づく研究課題などについて、意見を交わします。

平成30年7月豪雨の復旧状況とその後の取り組みについて説明し、これからの防災・減災対策の施策策定に向け、今後の研究課題や方向性について議論を行います。

なお、斜面の危険度の新たな予測手法につながる、土石流等の集中発生メカニズムの解明に取り組む研究プロジェクト「ががら山実証実験プロジェクト全体構想」について、海堀正博防災・減災研究センター長の説明の後、意見交換を行います。

- 開催日時：令和3年1月25日（月）13：40から90分程度（予定）
- 開催場所：国立大学法人広島大学 東広島キャンパス
中央図書館ライブラリーホール（住所 東広島市鏡山 1-2-2）
- 出席者：国立大学法人広島大学 学長 他
国土交通省中国地方整備局 局長 他
- 発表者：防災・減災研究センター長 海堀 正博（砂防学）
先進理工系科学研究科 教授 藤原 章正（災害交通マネジメント）
先進理工系科学研究科 教授 畠 俊郎（地盤工学）
先進理工系科学研究科 准教授 長谷川 祐治（砂防学）
先進理工系科学研究科 准教授 内田 龍彦（洪水・氾濫災害）
先進理工系科学研究科 准教授 塚井 誠人（災害交通マネジメント）

○取材について：当日は、報道席を設けております。

【お問い合わせ先】

国立大学法人広島大学	082-424-5871（直通）		
【担当】	学術・社会連携室地域連携部門	三戸 里美	
国土交通省中国地方整備局	082-221-9231（代表）	：	（平日・昼間）
【担当】	企画部 技術管理課長	山崎 彰	（内線3311）
	建設専門官	竹下 和幸	（内線3318）
中国地方整備局 広報広聴対策官		加藤 浩士	（内線2117）
中国地方整備局 企画部 環境調整官		後藤 寿久	（内線3114）

開催場所：国立大学法人広島大学 東広島キャンパス

中央図書館ライブラリーホール（住所 東広島市鏡山 1-2-2）



会場（中央図書館ライブラリーホール）

入退館には身分証（カード）が必要です。13:00 から職員が待機しておりますので、お申し出ください。

広島大学・国土交通省中国地方整備局との意見交換会

日 時：令和3年1月25日（月） 13:40～15:10

場 所：広島大学 東広島キャンパス 中央図書館ライブラリーホール

議 事 次 第

1. 開会

- 学長挨拶 越智 光夫（おち みつお）
- 局長挨拶 小平 卓（こだいら たく）

2. 平成30年7月豪雨の復旧状況について（中国地方整備局）

3. 防災・減災研究センター取組（広島大学）

- ・ががら山実証実験プロジェクト全体構想について
防災・減災研究センター長 海堀 正博

4. 受託研究課題及び今後の展開

- （1）道路に到達する恐れのある土石流危険箇所の抽出に関する研究
先進理工系科学研究科 准教授 長谷川 祐治
- （2）土砂洪水氾濫による土砂の移動特性
先進理工系科学研究科 准教授 内田 龍彦
- （3）災害時等における交通状況の把握と交通量需要抑制に関する研究
先進理工系科学研究科 教授 藤原 章正
- （4）モビリティ・コア型道の駅の社会実装に関する研究
先進理工系科学研究科 准教授 塚井 誠人
- （5）道路切土斜面管理の効率化および粘り強い河川堤防築堤技術開発の提案
先進理工系科学研究科 教授 畠 俊郎

5. 閉 会

(別紙)

【FAX返信用紙】

FAX：082-424-6040

広島大学財務・総務室広報部 広報グループ 行

安全・安心を実現する施策について意見交換します

日時：1月25日（月）13：40～15：10

場所：国立大学法人広島大学 東広島キャンパス

中央図書館ライブラリーホール（住所 東広島市鏡山 1-2-2）

貴社名 _____

部署名 _____

ご芳名 _____（計 名）

電話番号 _____

誠に恐れ入りますが、ご出席いただける場合は上記にご記入いただき、
1月22日（金）16時までにご連絡願います。

※参加される方は、必ずマスクをご着用下さい。